

2. 汚職事件について

(平成 25 年 4 月 1 日～平成 26 年 3 月 31 日)

- この調査は、地方公共団体及び地方三公社、職員共済組合、公益的法人等（以下「公社等」という。）において、平成 25 年度（平成 25 年 4 月 1 日から平成 26 年 3 月 31 日まで）に発覚した汚職事件の状況を把握するために実施したものである。
- 調査対象となる者は、都道府県、政令指定都市、市、特別区、町村及び一部事務組合、広域連合（以下「一部事務組合等」という。）の事務に従事している特別職（首長、議員、その他の特別職）の地方公務員及び一般職の地方公務員（地方公務員としての身分を有しつつ公社等の事務に従事している者を含む。）である。
- なお、この調査における用語の定義は次のとおりである。
 - 汚職： 私利私欲のために職に関して不正をなすことをいうものであること。
 - 発覚： 公選される職（首長、議員）にある者が関係した汚職事件については、起訴された場合、それ以外の特別職及び一般職が関係した汚職事件については、地方公共団体においてその事実を確認した場合、又は事実を確認していないが起訴された場合をいうものであること。

汚職事件の状況

- 平成 25 年度中に発覚した汚職事件の件数は 112 件（対前年度比 9 件増）、これらの事件が発生した団体は 99 団体（対前年度比 10 団体増）、当事者として汚職事件に関係した職員は 112 人（対前年度比 7 人増）である。
- 汚職事件を種類別にみると、横領事件が 85 件（対前年度比 2 件増）、収賄事件が 15 件（対前年度比 4 件増）であり、両者で全体の 89.3%を占めている。
また、関係職員（当事者）数を種類別にみると、横領事件に 85 人（対前年度比 2 人増）、収賄事件に 15 人（対前年度比 3 人増）が関係しており、これらの事件に関係した者が全体の 89.3%を占めている。
- 汚職事件を部門別にみると、警察・消防部門が 23 件（20.5%）、教育部門が 20 件（17.9%）となっている。
- 汚職事件を態様別にみると、「公金等の取扱」に関するものが 61 件（54.5%）、「親睦会費等の取扱」に関するものが 14 件（12.5%）、「土木建築工事の執行」に関するものが 13 件（11.6%）となっている。

（１）件数、団体数、関係職員（当事者）数

区 分	件 数 (件)	団 体 数 (団体)	関係職員（当事者）数 (人)
都 道 府 県 等	32 (23)	25 (17)	32 (24)
市 町 村 等	80 (80)	74 (72)	80 (81)
公 社 等	0 (0)	0 (0)	0 (0)
計	112 (103)	99 (89)	112 (105)

（注） 1 （ ）内の数字は、前年度の数等を示す。

2 「都道府県等」には、二以上の都道府県が設立している一部事務組合等が、「市町村等」には、特別区及び一部事務組合等（二以上の都道府県が設立しているものを除く。）が含まれる。「公社等」は、地方三公社、職員共済組合及び公益的法人等である。

(2) 汚職事件の種類別内訳

区 分	件 数		関係職員（当事者）数	
	件 数 （件）	全体に占める 割 合	職 員 数 （人）	全体に占める 割 合
横 領	85 (83)	75.9%	85 (83)	75.9%
収 賄	15 (11)	13.4%	15 (12)	13.4%
詐 欺	6 (6)	5.4%	6 (7)	5.4%
そ の 他	6 (3)	5.4%	6 (3)	5.4%
計	112 (103)	100.0%	112 (105)	100.0%

(注) () 内の数字は、前年度の人数等を示す。

(3) 汚職事件の部門別内訳

区 分	件 数		関係職員（当事者）数	
	件 数 （件）	全体に占める 割 合	職 員 数 （人）	全体に占める 割 合
警 察 ・ 消 防	23 (13)	20.5%	23 (14)	20.5%
教 育	20 (24)	17.9%	20 (24)	17.9%
総 務	15 (13)	13.4%	15 (13)	13.4%
民 生 ・ 労 働	14 (15)	12.5%	14 (16)	12.5%
土 木 ・ 建 築	13 (10)	11.6%	13 (10)	11.6%
公 営 企 業	11 (8)	9.8%	11 (8)	9.8%
衛 生 ・ 環 境 ・ 公 害	6 (4)	5.4%	6 (4)	5.4%
農 林 ・ 水 産	5 (7)	4.5%	5 (7)	4.5%
商 工	3 (6)	2.7%	3 (6)	2.7%
企 画 ・ 開 発	1 (3)	0.9%	1 (3)	0.9%
議 会	1 (0)	0.9%	1 (0)	0.9%
計	112 (103)	100.0%	112 (105)	100.0%

(注) () 内の数字は、前年度の人数等を示す。

(4) 汚職事件の態様別内訳

区 分	件 数		関係職員（当事者）数	
	件 数 （件）	全体に占める 割 合	職 員 数 （人）	全体に占める 割 合
公 金 等 の 取 扱	61 (65)	54.5%	61 (66)	54.5%
親睦会費等の取扱	14 (11)	12.5%	14 (11)	12.5%
土木建築工事の執行	13 (6)	11.6%	13 (6)	11.6%
税の賦課・徴収	6 (4)	5.4%	6 (4)	5.4%
物品等の購入・ 役務の提供	4 (6)	3.6%	4 (6)	3.6%
補助金・融資	2 (4)	1.8%	2 (4)	1.8%
各種検査・ 審査・検定	1 (0)	0.9%	1 (0)	0.9%
用地買収	0 (1)	0.0%	0 (1)	0.0%
そ の 他	11 (6)	9.8%	11 (7)	9.8%
計	112 (103)	100.0%	112 (105)	100.0%

(注) () 内の数字は、前年度の人数等を示す。

(5) 関係職員（当事者）の内訳

(単位：人)

区 分	特 別 職				一 般 職	合 計
	首 長	議 員	そ の 他	計		
平成25年度	1	0	1	2	110	112
平成24年度	0	0	8	8	97	105

(6) 汚職事件発生の背景

○ 平成 25 年度中に汚職事件が発覚した地方公共団体等（99 団体）が、汚職事件発生の背景として指摘している事項は次のとおりである。（複数回答団体あり）

区 分	回 答 数
1. 組織・制度上の問題	199
(1) 監督の不十分	(88)
(2) 制度及び制度運用上の問題	(41)
(3) 特定職員への権限集中	(39)
(4) 人事の停滞	(31)
2. 職務遂行上の問題	224
(1) 業務チェックの不備	(117)
(2) 会計管理の不備	(80)
(3) 公印等の管理の不備	(27)
3. 職員としての資質の問題	182
(1) 職員としての資質の欠如	(158)
(2) 職員と業者との癒着	(24)
4. 外部的要因による問題	3
(1) 社会的な要因	(2)
(2) 業者の競争	(1)
5. その他	33

(7) 汚職事件再発防止のための措置

- 平成 25 年度中に汚職事件が発覚した地方公共団体等（99 団体）において、汚職事件の再発を防止するための主な措置は次のとおりである。

(単位：件)

区 分	措 置 項 目	実施済	実施予定
法令・規程の整備	事務分掌、決裁等関係規程の整備	9	0
	審査・管理機関の設置	8	1
	組織、機構、職制の整備	8	0
人事配置、任用上の改善	人事の刷新	13	0
	要員の充実	8	1
	許認可、工事関係職員等の適時、計画的配転	3	0
事務執行方法の改善	事務点検、調査の実施	59	1
	チェックシステムの整備・強化	57	3
	会計事務の改善	41	1
サービス管理の整備強化	各種研修の充実・強化	101	24
	通達の発出	56	0
	訓示	50	0

(注) 区分ごとに、関係団体が実施済み、又は実施する予定である主な措置を抽出（複数回答団体あり）。

(参考) 発覚件数、団体数及び関係職員(当事者)数の推移

区 分		平成 16年度	平成 17年度	平成 18年度	平成 19年度	平成 20年度	平成 21年度	平成 22年度	平成 23年度	平成 24年度	平成 25年度
件 数 (件)	都道府県等	33	16	32	21	33	25	21	21	23	32
	市町村等	92	124	126	120	122	98	87	106	80	80
	公 社 等	0	0	1	2	1	0	0	1	0	0
	計	125	140	159	143	156	123	108	128	103	112
団 体 数 (団 体)	都道府県等	15	10	19	11	22	11	16	17	17	25
	市町村等	79	98	105	110	107	92	74	95	72	74
	公 社 等	0	0	1	2	1	0	0	1	0	0
	計	94	108	125	123	130	103	90	113	89	99
関 係 職 員 (当 事 者) 数 (人)	都道府県等	36	16	41	21	40	27	21	21	24	32
	市町村等	106	132	149	123	123	108	110	108	81	80
	公 社 等	0	0	1	2	1	0	0	1	0	0
	計	142	148	191	146	164	135	131	130	105	112